

会報



再処理企業協議会

さいくる



2020年1月 第13号

2020年（令和2年）1月1日発行

発行：再処理企業協議会

発行責任者：事務局長 北上孝寿

〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駁字

弥栄平1-5 再処理企業センター

TEL (0175) 71-2487

FAX (0175) 71-2488

URL <https://www.saisyori-kigyokyogikai.jp/>



会長挨拶



新年のご挨拶

再処理協議会 会長

株式会社 IHI 六ヶ所建設工事事務所

所長 難波 健太郎

再処理企業協議会の皆様、新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

再処理企業協議会の活動は、2012年(平成24年)11月の設立から数えて7年、当初から現在に至るまで、皆様方のご意見やご要望を取り入れながら、年間を通じた様々な趣向を凝らした活動を実施させて頂いております。これもひとえに、会員企業の皆様のご協力とご理解およびご支援の賜物であると存じます。この紙面をお借りして、皆様に感謝申し上げます。

2019年は、元号が“平成”から“令和”へと変わり、新しい時代の始まりとなる年でした。 昨年の4月の会員総会にて決定した2019年度事業計画に基づいて、「技術研修部会」、「広報部会」を中心とした様々な活動を展開してきました。

2019年度事業計画

- (1) 会員企業に共通する技能訓練・教育
- (2) 研修に関する事業
- (3) 会員企業相互のコミュニケーション推進のための事業

この事業計画に基づき、皆様方からご好評を頂いて昨年も実施の運びとなった「RCA研修」や「トラブル事例検討会」などの研修プログラム、そして「マジック」から読み解いて安全やコミュニケーションに係わる話題を楽しく講演して頂いた記念講演会などを実施してきました。また、「ボウリング大会」、「ゴルフ大会」、そして「フリースロー大会」では、普段に顔を合わすことのない会員とのコミュニケーションを図ることができたものと実感しております。さらに、新たな取り組みとして『日本原燃殿』及び『再処理安全推進協議会』との3者タイアップにより年末に実施した「安全綱引き大会」は、23チームの参加を頂き、大好評にて実施することができました。

現在、原子力規制庁による新規規制基準適合性に係る審査が実施されており、その対応も審査合格に向けた最終調整の段階にあり、再処理工場の2021年上期しゅん工に向けて、一歩ずつではありますが確実に前進しています。そして、審査が終了し合格証が発行されると、各企業における新規規制基準に対応させるための様々な工事が本格化し、今以上の多くの方々再処理工場の仕事に従事されることが予想されています。そして、人が増えることにより懸念される問題が、「コミュニケーション」です。当たり前のことではありますが、人が増えれば伝わる情報のスピードも遅くなり、情報のバトンリレーが繰り返されるたびに“情報量”も“情報の正確さ”も低下する傾向にあります。そして、企業を跨るコミュニケーションを必要とする場合は、企業内の情報のバトンリレーと比較して、更に情報量もスピードも低下します。そして、この先に待ち受けているのは、『品質不適合』や『労働災害』の発生です。これらの発生は、折角築き上げた信用や信頼を失ってしまうことも考えられ、結果として予定されている再処理工場のしゅん工時期に影響を及ぼす可能性も考えられます。

このような状況に陥ることのないよう、会員企業の皆様方の発展と会員企業間のコミュニケーションの更なる推進を図るべく、皆様方と一緒に当協議会の活動を進めていく所存です。また、各会員企業に所属する皆様方が必要とする教育等も充実させて、安心して安全に作業できる環境も整えていく所存です。

そして、全員が一つとなって再処理工場のしゅん工に向けて邁進すべく、一心同体の関係にある日本原燃(株)殿とタッグを組みながら、新しい時代となる再処理企業協議会を構築していきたいと考えております。この実現に向けて、皆様方からのご指導ご鞭撻及び各活動への積極的な参加をお願い致します。

56年振りの開催となる東京オリンピックが開催される今年、色々な意味において日本全体の『気運』が盛り上がる年になるものと思っております。私たちもこの『気運』に乗り遅れることの無いように、私たちも『金メダル』を獲得することができるよう、そして健康第一で仕事ができるよう、一緒になって頑張っていきたいと思います。

最後に、日本原燃(株)殿、再処理企業協議会ならびに参加企業の発展と、職場の仲間やご家族が安全で安心して今年一年を過ごされますことを心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

再処理事業部長挨拶



新年のご挨拶

日本原燃株式会社

再処理事業部長 津幡 俊

再処理企業協議会会員の皆さま、新年明けましておめでとうございます。
ご家族共々清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
また、この年末年始に昼夜を問わず再処理工場の保安の確保をはじめとする様々な業務に携わってくださった方々におかれましては、大変お疲れ様でした。心から感謝申し上げます。

さて、再処理企業協議会会員企業の皆さまには、昨年中、私どもの再処理事業の現場第一線での業務をしっかりと担っていただいたことに、心より感謝申し上げます。2020年は、2021年度上期に計画している再処理工場のしゅん工に向けて、工事の最盛期を迎える重要な年であります。再処理施設における新規制基準の安全審査は、許可まで目の前のところまでできました。国も最終局面を意識した対応となっていると感じています。日本原燃は全社体制で対応しておりますし、電力会社からも全面的な協力をいただいております、まさに原子燃料サイクル関係者一体となって対応した結果、現在に至ることが出来ました。もう一踏ん張りです。皆さん一緒に頑張りましょう。

この事業変更許可後には、新規制基準対策工事に係る設計および設工認申請を行い、認可を受けて安全性向上対策工事を本格的に実施しなければなりません。これらの工事は、再処理工場の建設以降、最大規模となり、再処理企業協議会会員企業の皆さまをはじめ、多くの協力会社の皆さまにご協力をいただきながら、膨大な工事物量を限られた期間と、限られたエリアのなかで作業することとなります。大変厳しい環境ですが、労働災害ゼロ・ヒューマンエラーゼロを目指し、私たちと協力会社の皆さまで一致団結して、工事を進めて行きたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

また、4月からは、現在試運用中の新検査制度が正式運用となります。昨年中までは試運用で様々な準備をしてきた訳ですが、4月からが本番となりますので、総仕上げを行い、来たる新検査制度の対応を皆でしっかり乗り切って行きましょう。

再処理企業協議会会員企業の皆さまにおかれましては引き続き、安全最優先に業務を遂行していただくとともに、教育訓練・研修活動に活発に取り組み技術力アップに努めていただきたいと思います。会員同士のコミュニケーションを深め、当社と会員企業の皆さまが力を合わせ協力し合っ
て業務を確実に遂行することが、再処理工場のしゅん工、そして安全・安定操業につながり、引いては、地域の皆さまからの信頼を得られると確信しておりますので、何卒ご協力の程よろしく願
います。

最後に、再処理企業協議会ならびに会員企業の皆さまが、今年活動を活発に展開し、それぞれの業務を無事故・無災害、労働災害ゼロで完遂させ、地域の皆さまとともに、ますますご発展されることを祈念いたしまして、私からの新年にあたってのご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願いいたします。

安全綱引き大会

12月18日に安全綱引き大会（再処理企業協議会共催）が開催され、決勝戦でジェイテックチームがチームIHIを倒し栄えある優勝を引き寄せました。



「ミステリアスな歴史・古代の六ヶ所村」【第十一回】

六ヶ所村「尾駮の牧」歴史研究会 会長 相内 知昭

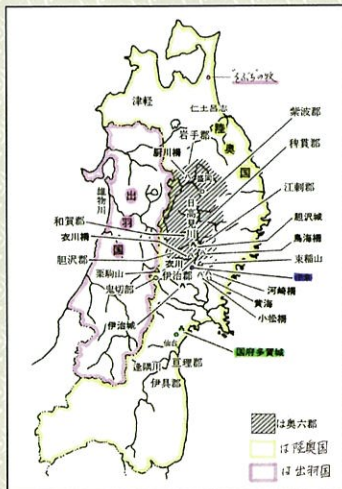
それでは、今回からは、いよいよ、これまで考察してきた六ヶ所村の考古学的発掘成果やその遺物が持つ、また「尾駮の駒」そのものが持つ思想的背景等を理解した上で、今テーマの主題でもある、「尾駮の牧」と六ヶ所村が、第一回にもお話ししたとおり、「奥州藤原氏政権が幕開けする前段階のドラマ」が、実は、この六ヶ所村を舞台として展開されていたのではないかと、という仮説に迫っていきたい。私は以前に、青森県文化財保護協会機関誌「東奥文化」(81号・82号)に、「尾駮の牧」と奥地の俘囚・安倍富忠とのつながりについての「考察」(二〇一〇)ならびに、「尾駮の牧」の一試論―摺関期における馬の需要の意味と「尾駮の牧」(二〇一〇)という二つの論考を、掲載してもらったことがある。

その中で私は、自身の持論でもあるが、「平安時代末期・前九年合戦(一〇五七)」において、当時「奥六郡の奥」ともいわれていた、この上北地方(宇曾利・仁土呂志・鉈屋)を治めていた安倍富忠が、宗家(本家筋)である「奥六郡」の主である安倍頼時を裏切つて、朝廷側(源氏)の源頼義・義家父子に味方したため、安倍氏が滅び、奥州藤原氏政権が誕生したという歴史は、その富忠が離反した背景にこそ、この地方(尾駮の牧)が、伝統的に「律令政権におけるところの御牧」と同様のあつかいであったという自負心から起こったもの「あるいは、「安倍富忠と中央政権のつながり、それは尾駮の牧を背景としていた」と推論、仮説した。

また、源頼義の朝廷が、安倍富忠を頼りとしたのは、すでに中央においては、尾駮の駒のブランド品(奥地の奥産の駿馬)はその名を馳せており、安倍富忠の勢力も把握しており、富忠自身も、安倍頼時を支えるほどの経済的・軍事的実力を持っていたとの自負心からの反旗、頼義への呼応ではなかったか?と、考えた。そして、その仮説を裏付けるために、頼義の「富忠離反工作」としての、安倍頼時挟み撃ち計画の使者として、「下毛野興重(しもつけのおきしげ)派遣」の意味について、さらに論を進めた。

その前九年合戦のてんまつが記されている「陸奥話記」(成立は平安時代後期。11世紀後期頃と推定。作者不詳)によれば、「天喜五年(一〇五七)、宇曾利(こそり)・仁土呂志(にとろし)・鉈屋(かなや)の「三部」(二郡?)の夷人(この地域の人たちの蔑称)たちは、安倍富忠を首領として、金為時(こむらも頼時使者)に従い、兵を起こした」と記されている。いわゆる、富忠の安倍頼時への反旗の一節であるが、実は現在、この「三部」の地域とは、「宇曾利」は下北半島。「仁土呂志」は野辺地町の「御手洗瀬」地区を中心とした地域。「鉈屋」は六戸町金天地域を中心とした地域ではなかったか?と推測されている。

今回は、その「三部」の比定地の話から進めていきたい。乞う、ご期待…。



三八三 (上巻)天喜五年秋九月、進國解言上謀伐頼時之状、傳、臣使金為時下毛興重等甘説奥地俘囚、令興重軍、於是鉈屋仁土呂志宇曾利合三部夷人安倍富忠爲首發兵、將從爲時、而頼時聞其計、自往陳利害、衆不過三千人、富忠設伏兵擊之、喉絶、大戰三日、頼時爲流矢所中、還馬海押死、(陸奥話記)



第1回各社対抗フリースロー大会



10月24日に第1回各社対抗フリースロー大会が開催され、各社3名の代表がフリースローの得点合計を競った結果、三菱マテリアルテクノ(株)が栄えある第1回優勝を勝ち取りました。

会社名	チーム名/選手名	チーム合計得点	順位
三菱マテリアル テクノ(株)	MMTEC	13	優勝
	フジワラ 藤原 ツトム 敦 ニシナ 仁科 タクシ 武志 カドヤ 角谷 コウスケ 孝輔		
日本原燃分析(株)	J-CAL	11	第2位
	マエダ 前田 サトシ 智史 シラカワ 白川 トモキ 智基 オノ 小野 トム 冬夢		
ATOM Works(株)	アベノミクス	7	第3位
	タカヤマ 高山 ダイスク 大輔 コウダ 甲田 タカトシ 大星 アベ 阿部 コウタ 優汰		



再処理企業協議会設立7周年記念講演会

開催日時:2019年11月27日(水) 13:30~15:00

講師:

開催場所:再処理企業センターB棟1階大会議室

江刺家 由貴(マジシャン)

演題:「マジックも安全も意思疎通が大事~“どう伝わるか”を「マジック」から読み解く~」



なぜ、マジックと安全なのか、安全につながるマジックの実演などを通じた興味深い講演会でした。

◆マジックでは、イリュージョンマジックのように人身事故につながるようなものもあり、マジシャンとサポートするスタッフはマジックの現場の安全を確保することが課せられています。

◆マジックは人の注意を引き付けて(場面行動本能)において、トリックを成功に導くに対して、我々の現場では何かに注意を引き付けられてうっかり労災を起こしてしまうことがあるので、両者にはヒューマンエラーを起因とする点で共通の要因があるということになるそうです。

◆講師はいくつかのマジックを披露しつつ次のようなポイントを指摘されました。

①成功を導くには、目的意識を共有した情報共有と事前準備が大切。

(「準備とは言い訳を回避すること」…イチロー)

②コミュニケーションでは次の3点が大切。

・挨拶

(挨拶:押す⇒心を開くこと、挨拶:迫る⇒心に近づくこと)

・自己開示 ・積極的傾聴



「ONE TEAM」

株式会社ジェイテック 月館 大志

六ヶ所エンジニアリング(榑坂本様より)ご指名を頂戴したジェイテック月館でございます。今回は昨年開催されたラグビーワールドカップを題材としています。当方、実際に会場(札幌)でイングランドVSトンガ戦を観戦しましたが、屈強な大男達がぶつかり合う姿に感動を覚え、気持ちが高ぶったことを思い出します。

(実は観戦前にビールを10杯飲んでへろへろだったのは内緒です。)さて、今回は本大会のうち、日本代表の活躍にみる、私たち六ヶ所企業体のあるべき姿にフォーカスしてみます。

ラグビー日本代表は、ラグビーワールドカップ2019において、準々決勝で敗れたものの初のベスト8進出という歴史的な快挙を成し遂げました。外国出身者も多く、様々な文化を持つ選手達が強く結束した「ONE TEAM(=ワンチーム)」になることで、体格が勝る強豪と互角以上に渡り合えることを世界に示すとともに、さらなる躍進の可能性を示しました。

私たち六ヶ所企業体もラグビー日本代表に学び、各社が有する「多様性」を強みとするべく、がっちりスクラムを組み、「ONE TEAM」になってサイクル事業の原動力となる必要があります。是非、結束の合言葉として「ONE TEAM」を掲げ、みんなで頑張りましょう!!

以上、拙文ながら投稿させていただきます。それでは、次のメンバーにパスさせていただきます。

東京エネシス工藤様よろしくお願ひ致します。



企業の壁を乗り越えた人と人とのつながり「輪」を紹介するページです。次はあなたかも...

株式会社ジェイテック 山口 知彦

選り抜きの家電

ATOM Works滝沢様よりご指名頂きました株式会社ジェイテック 統括業務部の山口と申します。

私は青森市出身で家電が新発売されると、衝動買いしてしまうB型です。

今回は選り抜きの家電を紹介します。1つ目は炭酸飲料製造器です。既に愛用者も多数いるかとは思いますが、炭酸ガスによって、普通の水をボタン一つで炭酸水に変える代物です。私は炭酸ジュースが好物で大量に飲んでいましたが、爽快感とともに大量の糖分も摂取していました。体重増加が気になりだした私には、効果てき面の健康家電として重宝しています。

2つ目はH社製の自動調理家電です。大きな特徴として無水式調理により旨みを引き出すということと、ボタン一つでお手軽に料理が出来上がる事です。おそらく(私の勝手な想像ですが)この開発には、料理手順を細分化し分析・数値化することで、機械による人の動作(調理)再現を可能としたのではないかと考えます。このやり方は、我々が現在取り組んでいる「ジェイテックカイゼン活動」にもリンクする動きであり感心しています。

新しい家電が次々と世に出ています。その度に人間の知恵による発展は素晴らしいと感慨にふけながら、自業務のカイゼンアイデア要素を求めて、休日返上で大型家電量販店に駆け込んでいます。(笑)

なお、私は家電量販店の回し者ではございませんが、気に入った家電がありましたらご購入の検討宜しくお願いします。(笑)

次は、トーヨー工業株式会社 梅村様宜しくお願い致します。



六ヶ所村発(初)音楽フェスティバル

ニチアスエンジニアリングサービス株式会社 安藤 勇介

皆様、日々の業務お疲れ様です。株式会社クリハラントの島袋様よりご指名を頂きました、ニチアスエンジニアリングサービス株式会社の安藤と申します。私は六ヶ所村生まれ(正確には野辺地病院)六ヶ所村育ちですが、今年友人らと共に「六ヶ所村に音楽フェスティバルを作ろう!」と一念発起し実行委員として計画から携わりました。

『BLUE GREEN CAMP FESTIVAL』と銘打った本イベントはメジャーアーティストが来てくれたということもあり動員数もまざまざの盛況で終わりました。

何より多数のお客様からのご好評の声が嬉しかったです。

実行委員メンバーや役場からの応援、ボランティアの方々の努力により何事もなく完成させたイベントは、1件名の工事が終わった感動と安堵感にも通じるものがありました。

来年は今年の反省点を活かし、更なるクオリティーアップを目指したイベントにしますのでぜひ皆さん遊びに来てください。音楽好き、キャンプ好き、お祭り好き、若しくはどれも興味が無いという方にこそ来てほしいイベントです!

来年は「実行委員のくせに飲みすぎ…」と苦言されないよう自重します。

友人知人もお誘いの上、よろしくお願ひ致します!

次は、事前の断りを入れていませんが、三菱マテリアルテクノ株式会社 仁科様、宜しくお願い致します。



山の紅葉を見に行こう

六ヶ所再処理メンテナンスサービス株式会社 大野 功貴

皆様、日々の業務お疲れ様です。

太平電業株式会社の渡邊様からご指名頂きました六ヶ所再処理メンテナンスサービス株式会社の大野と申します。

先日、たまには山の紅葉でも見に行こうかなということで、八甲田山の葛沼へ行ってきました。観光地ということもあって葛沼周辺の遊歩道は、整備されていて歩き易く周辺の紅葉も凄く綺麗でした。八甲田山の木々の間には、水源涵養林と書かれている看板が所々にあり、調べてみると水源涵養林とは、雨水を吸収して水源を保ったり、河川の流量を調整する上で大切な役目を持っているとのことでした。

近年は、洪水災害が多発していますが、洪水を緩和する役割を山の自然が担っていることと再認識したことで自然の大切さを感じた一日でした。

やっぱり山の空気は美味しいし、自然を見ると気持ちも安らぎます。皆さんも休みの日は、山に出掛けてみてはいかがでしょうか。

次は、株式会社HEXEL Worksの根城様宜しくお願い致します。





初詣とお酒

毎年年末年始は実家のある東京で迎えます。
元旦は運動を兼ねて深川七福神と2~3の神社を歩いてお参りしていますが、その後はお酒三昧なので運動の効果はありません。
年齢とともに神さまへのお願いが多くなっています。

小川 裕章



スポーツ観戦

テレビでスポーツ観戦です。
ニューイヤー駅伝、箱根駅伝、天皇杯サッカー決勝、高校サッカーなど元旦から毎日放送されています。
一番お勧めは新日本プロレス 1.4 東京ドーム大会です。

木村 孝之



スキー場

妻の実家に帰省し連日スキー場に行くのが定番となっています。
子供が年々上達していく姿を見て成長を感じております。
一緒に滑れるようになるのが楽しみです。

玉井 慎一郎



サッカー天皇杯決勝戦

50年前に“明治神宮に来る初詣参拝客が少しでも試合を観に来てくれば”とのことで元旦開催になったそうです。
今年は初めて新国立競技場で行われます。
チケットを手に入れるのは難しいかもしれませんが、生観戦が目標です。

西山 照雄

「正月といえは…」 さいくる de Talk

日本建設工業株式会社 六ヶ所作業所



メドツ (河童)

毎年、初詣は櫛引八幡宮を参拝します。
左甚五郎が手掛けたという言い伝えもあります。
落語・講談が好きな方は、聞いたことがある名前かと!?
河童が禿げた由縁がここに、皆様、河童を探して下さい。

澤上 拓博



あいさつ回り

正月には帰省をして近場の親族や義両親のもとへ、お土産を持ってあいさつ回りをしています。
各地の名産品は物珍しさとお味しさにより好評で、話の種にもなります。
お互いに元気な姿を確認して、また1年間頑張ります。

清水 淳平



寝正月

大晦日から年が明けてからも何をする訳でもなく、実家でまったり過ごします。
寝正月して体を休ませます。

米内山 亮



家族と実家で

実家に帰省し、家族と実家でゆっくり過ごすことでしょうか。

正月ぐらいは、家族と地元の小さな神社で初詣？を済ませ家で寝正月です。



風呂田 直哉



家族でゲーム

我が家は私の他、妻、三人の子供全員がゲーマーで時間のたくさんある年末年始はそれぞれが自分のゲームに夢中です。
家からあまり出ないので運動不足には注意したいですね。

氣仙 裕和



旅行

正月を過ぎた頃、娘たちと毎年関東へ旅行に行きます。
今回は関西へ行こうか？計画中です。
いつか海外で年越しするのが目標です!! もちろん旦那は留守番です。(笑)

澤田 真理子

再処理企業協議会 ホームページのご案内

再処理企業協議会では、ホームページを公開しております。当ホームページでは、設立趣意書、かわら版や会報等を紹介しております。また、会員限定のページもあり、入所時教育の申込やお知らせなど多くの情報を確認できます。当協議会では、ホームページの改善やコンテンツの充実に努めてまいりますので、是非当ホームページを奮ってご活用ください。

また、再処理企業協議会では、協力会社の皆様のご意見、ご要望を受付しております。以下にて、ご連絡ください。なお、相談者のプライバシーにつきましては厳重に保護されますのでご安心ください。

●ホームページアドレス

<https://www.saisyori-kigyokuyogikai.jp/>

●電話・FAX

0175-71-2487 平日 10時~16時
0175-71-2488



行事のお知らせ

1月8日……もちつき大会
2月……ダーツ大会



事務局長あいさつ

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。

昨年の良いニュースと言えば、ラグビー日本チームの活躍でした。「ワンチーム」の合言葉で頑張る選手の姿に皆さんも感動したことと思います。再処理企業協議会も「ワンチーム」を目指して頑張ってくださいませ。

さて、昨年の再処理企業協議会活動では、皆様のご支援・ご協力を賜り、各種活動が例年以上に盛況でありました。特に、ボウリング大会や新規開催したフリースロー大会など、多くの方に参加していただき、大変ありがとうございました。皆様のご意見・ご要望をもとに、より充実した活動にしていきたいと思っております。積極的にご参加をお願いします。最後に、皆様のご健康で、ご多幸の年でありますようにお祈り申し上げます。

二〇二〇年一月二日



再処理企業協議会
事務局長 北上 孝寿

編集担当者より



(株)青森クリエイト
野々宮 崇博

青森クリエイトの野々宮です。新年あけましておめでとうございます。当部会に参加しまして二年近くになります。まだまだ不慣れな点がございますが、今後も頑張る所存です。これからますます道路状況が厳しくなりますが、無事故・安全運転を心がけ春を迎えましょう。



美和電気工業(株)
工藤 隆広

美和電気工業の工藤です。あけましておめでとうございます。今年度から広報部会員として微力ながらお手伝いしております。会員の皆様もイベント等に積極的に参加して頂き、いろんなご意見を下さい。よろしくお願ひいたします。



原燃輸送(株)
中井 俊明

新年おめでとうございます。昨年末に耳カバー付きの帽子と濡れも大丈夫な防寒手袋を買い足し備えは万全。本年は子年。新たな可能性にチャレンジして行きましょう。